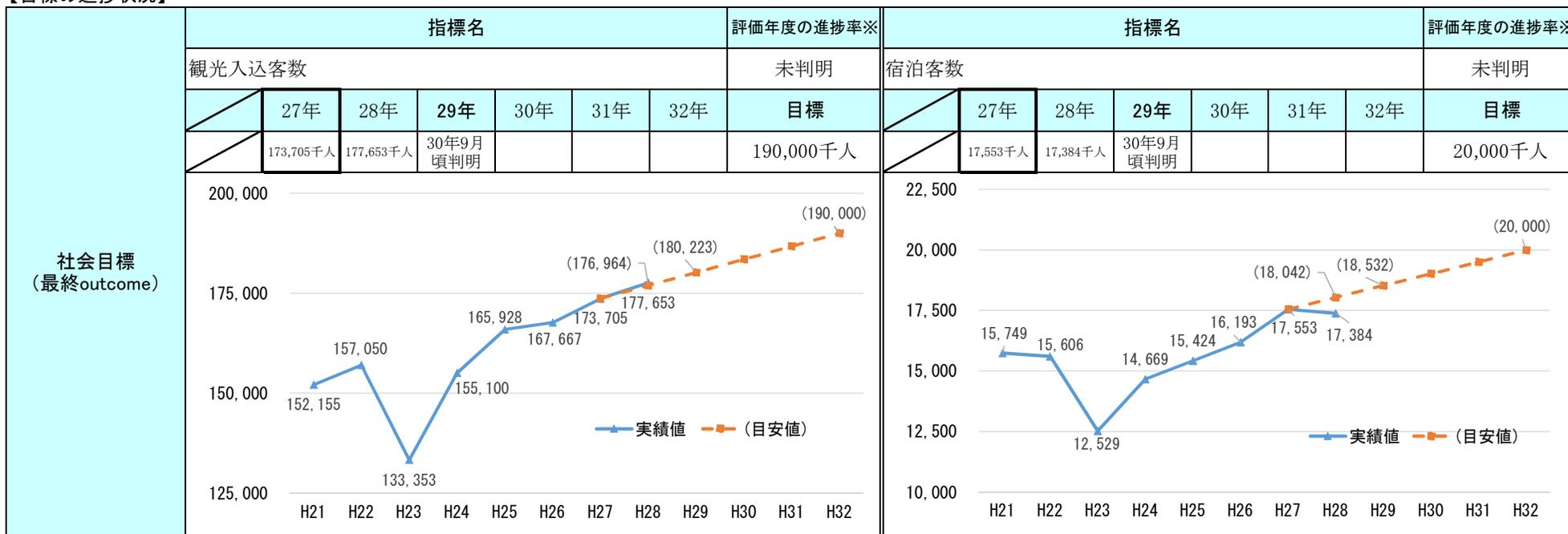


総合計画政策評価帳票
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	千葉の「宝」を生かした観光立県の推進と移住・定住の促進		施策主務課	商工労働部観光企画課	施策コード	Ⅲ-1-①
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備		1 国内外の多くの人々が集う魅力ある県づくり			
施策目標(定性目標)	本県の持つ魅力を十分に生かした魅力的な観光地づくりを推進するとともに、効果的なプロモーション活動により観光入込客・宿泊客をはじめとする交流人口の拡大と移住・定住の促進を図り、地域の活性化を目指します。					
社会目標(定量目標)	観光入込客数			宿泊客数		
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	192,781,832	192,907,595			
	決算額(千円)	134,195,393				
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)	29年度決算額(千円)	
	1 何度でも訪れたい魅力ある観光地づくり			658,800	484,336	
	2 観光産業の競争力強化			190,153,055	132,048,200	
	3 戦略的な国内観光プロモーションの展開			882,360	837,015	
	4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進			1,018,617	762,526	
	5 地域の特性を生かした移住・定住の促進			69,000	63,316	
施策計			192,781,832	134,195,393		

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) =	6 / 10	60.0%

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある観光地づくりに向けて、観光公衆トイレや駐車場などの観光関連施設の整備に対し51箇所、市町村等を主体とした観光客の宿泊や滞在の長時間化を目的とした旅行商品の造成、観光プログラムの充実や観光プロモーションなどの取組に対して14市町村に補助を行いました。 ・観光客に「また千葉に来たい」と感じてもらえるように、観光施設や宿泊施設等の経営者・従業員を対象に、外国人観光客に対応するためのICT機器の紹介や、実践的な接客語学研修などを開催し、405人の受講者に対して、おもてなし力の向上を図りました。 ・夏、秋、早春の季節に応じた観光キャンペーンを軸に、PRイベントの実施やマスメディア等を活用した情報発信などのプロモーションの展開、仙台・名古屋を中心とした、現地旅行会社と本県観光事業者が合計で419人参加した観光商談会の実施、現地旅行会社や教育関係者に対する修学旅行の誘致活動を積極的に行いました。 ・台湾・タイ王国・マレーシアで開催された旅行博への出展や現地商談会の開催、海外からの教育旅行として50校を受入れ、県内学校との交流やホームステイによる国際交流、海外からのメディア等の招請については、新たにベトナムもターゲットに加えて実施し、さまざまな手法で千葉県観光地のPRに努めました。 ・市町村と連携し、都内で移住セミナー等を開催(10回)・出展(2回)し、地域の魅力などを情報発信するとともに、移住相談等に対応(延べ241人)しました。
-----------	---

【要因分析】

社会目標の 要因分析	観光入込客数	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年実績は1億7,765万人となっており、平成27年に引き続き、過去最高を更新しました。増加理由としては、平成27年にオープンした道の駅の入込客数が大きく伸びたことや、幕張メッセでの開催イベント数の増加等が考えられます。 ・平成29年はゴールデンウィークや夏季に雨天が続いたことから、屋外の観光施設では減少する施設も多かったところですが、屋内の観光施設にうまく誘引できたと考えられるため、観光入込客数は横ばい程度であると想定されます。
	宿泊客数	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年実績は1,738万人となっており、前年比17万人減となりましたが、これはゴールデンウィークやシルバーウィークの日並びが悪かったことや台風の影響等によるものと考えられます。 ・平成29年は、観光庁の「宿泊旅行統計調査」(速報値)によると、本県の外国人延べ宿泊者数は前年比18万人増となっていることや、ゴールデンウィーク期間などの日並び条件が良かったことなどから、宿泊客数は増加すると想定されます。

【課題】

要因分析を踏まえた目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本県は首都東京など人口密集地に近接しているため、日帰り観光客の割合が高く、宿泊を伴う観光や滞在の長時間化を促す必要があります。 ・外環道の延伸開通をはじめ、本県の自動車による利便性が向上しているため、道の駅・SA・PA等の情報発信拠点としての強化などが求められます。 ・訪日外国人観光客が増加している中で、周遊エリアが千葉市・成田市・浦安市に集中しているため、県内全域への周遊や宿泊を促していく必要があります。
--------------------------	--

【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民間トイレの整備については引き続き補助率4分の3を継続し、補助制度のメリットを十分に示しながら各関係団体等を通じて広く周知し、促進します。また市町村間連携で成果をあげている事例などを県内市町村に紹介し、市町村間連携による宿泊滞在型観光を推進していきます。 ・オリンピック・パラリンピック開催時に、外国人の周遊エリアが県内各所に広がることも見込まれることなどを事業者の説明し、県内のおもてなし力の向上を図っていきます。 ・圏央道や外環道の延伸開通により本県へのアクセスがさらに向上することから、北関東地域でのPRや団体向けのツアーバス優待など自動車を利用した観光PRを図ります。また中京圏、北海道でのプロモーションやモニターツアー、県内観光関係者による現地訪問等による誘致活動を実施します。 ・訪日外国人観光客に県内各所の周遊・宿泊を促すため、海外からの旅行者向けの団体用バスの手配支援を始め、外国人向けPRガイドの更新や公衆無線LAN整備の補助箇所数の増加を図っていきます。 ・市町村が行う移住・定住促進のための取組を支援するとともに、県内の移住・定住に関する情報を発信するため、市町村と連携してホームページなど各種媒体を活用した情報発信や移住セミナー等の開催・出展を行います。
-------------------	--

総合計画政策評価帳票
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	国際都市として発展するCHIBAづくり		施策主務課	総合企画部国際課	施策コード	Ⅲ-1-②
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備		1 国内外の多くの人々が集う魅力ある県づくり			
施策目標(定性目標)	国際交流・協力の活発化、県内企業の海外取引や県産農林水産物輸出の促進、観光・MICE誘致などの展開や、外国人県民にも暮らしやすい多文化共生社会づくりを進め、国際社会とともに発展する県づくりを推進します。					
社会目標(定量目標)	国際交流・協力活動を展開している団体数		-			
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	3,310,026	3,886,239			
	決算額(千円)	3,117,164				
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)	29年度決算額(千円)	
	1 国際交流、国際協力の活発化			125,128	106,617	
	2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり			19,733	17,476	
	3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進			277,077	231,034	
	4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進			231,332	204,972	
	5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化			2,656,756	2,557,065	
施策計			3,310,026	3,117,164		

【目標の進捗状況】

社会目標 (最終outcome)	指標名						評価年度の進捗率※
	国際交流・協力活動を展開している団体数						40.0%
		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	目標
	176団体	178団体				194団体	

※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) = 11 / 13		

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹州であるアメリカ・ウィスコンシン州に友好使節団を派遣して交流を図るとともに、友好都市であるドイツ・デュッセルドルフ市の「日本デー」で交流に関するパネル展示や県紹介チラシの配布等を行い同市との交流を深めました。また、同じく友好都市である台湾・桃園市と観光や経済、教育、スポーツ等の交流を進めました。 ・各種会議を開催し、民間団体や公的機関、市町村等、計71の団体と外国人県民支援施策に関する情報を共有するとともに、団体相互の連携を促進しました。 ・新たに県産農林水産物の輸出に取り組む生産者団体等への助成や海外でのフェアなどの取組を進め、71社・団体が輸出の取組を行いました。 ・平成28年度に作成した外国人向けPR用観光ガイドマップに新スポットの設定やルート拡充を行い、外国人(英語・タイ語圏)向けWEBページ・SNS等を活用してPRを実施しました。 ・MICE[※]については、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー(CCB-IC)を中心として、市町村や関係機関との連携により、誘致に取り組みました。平成29年度は、CCB-ICにより、「日本薬学会第139年会」など国際会議(JNTO基準[※])の誘致に66件成功しました。 <p>※MICE:企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント・展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。 ※JNTO基準:参加者50人以上、参加国3カ国以上、会期1日以上等</p>
-----------	--

【要因分析】

社会目標の 要因分析	<p>国際交流・協力活動を展開している団体数</p> <p>国際交流・協力活動を展開している団体数は、目標達成に向けた進捗率は40%と低調であるものの、着実に増加しています。増加の要因は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、ホストタウンを始めとする国際交流の取組が県内各地で実施されていること、また、在住外国人の増加に伴い、地域の国際化が進展していることにあると考えられます。</p> <p>実際に、こうした国際交流の活発化及び地域の国際化を踏まえて、複数の市町村において国際交流協会設立に向けた動きが見られます。</p>
---------------	--

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の活発化及び地域の国際化を受けて実施される取組は、国際交流の促進及び多文化共生社会の実現に資することから、今後も組織的・継続的に実施されるよう、組織化・団体化を促進する必要があります。 ・既に国際交流・協力活動を展開している団体については、他団体との連携・協力体制を構築することで活動に広がりを持たせ、解散しないようにする必要があります。 ・海外展開を検討している中小企業を掘り起こし、県やジェトロ[※]が行う各種支援策を正しく理解し効果的に活用してもらうため、ニーズに応じたきめ細やかな支援が必要です。 ・今後、訪日旅行者の増加が見込まれる国に対して、旅行者の動向を調査してルートを作成し、母国語で情報発信する必要があります。 ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、今後国内外から多くの方が首都圏を訪れることが予想されます。この機会を確実に捉え、首都圏を実際に訪れる方々や日本に興味を持っている方々に、千葉の魅力を戦略的にPRし、本県へのMICE誘致につなげていく必要があります。 <p>※ジェトロ:独立行政法人日本貿易振興機構。日本企業の輸出支援、地域経済活性化支援、外国企業誘致支援などを行います。</p>
----------------------------------	---

【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会の設立を検討している市町村に対して、他の市町村国際交流協会の情報や国際化施策に関する情報を提供するなど、協会設立を支援します。 ・国際交流・協力団体が出席する国際交流・協力等ネットワーク会議について、団体にとって関心のある議題を設定するとともに、幅広い開催周知を行うことにより、より多くの団体の出席を促し、団体間の連携・協力体制の構築・強化につなげていきます。 ・企業の海外展開を支援するジェトロ千葉、千葉県産業振興センター、千葉県貿易協同組合等支援機関との情報共有に努め、連携を密にすることにより、企業が抱える課題やニーズの把握に努め、適切な情報提供や支援につなげます。 ・今後の外国人観光客の動向を見ながら、対応言語や周遊コースを増やしていきます。 ・MICEの誘致については、MICE関係機関との連絡会議を通じるなどしてCCB-ICをはじめ関係機関との連携強化を図り、情報共有や誘致活動を行うことなどによって、より一層の誘致競争力の強化に努めてまいります。
-------------------	--

平成29年度千葉県総合計画政策評価帳票（主な取組）

Ⅲ－１－①千葉の「宝」を生かした観光立県の推進と移住・定住の促進

- 1 何度でも訪れたい魅力ある観光地づくり
- 2 観光産業の競争力強化
- 3 戦略的な国内観光プロモーションの展開
- 4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進
- 5 地域の特性を生かした移住・定住の促進

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 何度でも訪れたくなる魅力ある観光地づくり		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	658,800	601,700			
	決算額(千円)	484,336				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	観光地魅力アップ整備事業等整備箇所数	52箇所 (28年度実績値)	55箇所 (29年度目標値)	51箇所 (29年度実績値)		未達成
宿泊・滞在型観光推進事業による支援市町村数	19市町村 (28年度実績値)	20市町村 (29年度目標値)	14市町村 (29年度実績値)		未達成	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある観光地づくりに向けて、観光公衆トイレや駐車場などの観光関連施設51箇所の整備に対し補助を行いました。 市町村等を主体とした観光客の宿泊や滞在の長時間化を目的とした旅行商品の造成、観光プログラムの充実や観光プロモーションなどの取組に対して14市町村に対し補助を行いました。 県内発着の定期観光バスやツアーバスの運行・造成促進を図るため、新規路線や新規商品の運行を優待するプロモーションを実施するとともに、新たな観光需要を掘り起こすため、鉄道事業者、市町村、観光事業者等と連携したフリー切符や日帰り旅行商品の販売を行いました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 観光地魅力アップ整備事業については市町村からの要望数は一定の数を保っており、今後は民間事業者への周知を推進していく必要があります。 宿泊・滞在型観光推進事業については、毎年市町村に創意工夫を求める補助制度ですが、市町村からの要望数は毎年一定を保っている状態となっています。 鉄道を利用したフリー切符については販売範囲を広げ、県内発着バスツアーについては今後新たに観光資源となりうる工場見学等を取り入れましたが、それぞれの事業において、さらなる利用促進のための広報周知が求められます。
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光地魅力アップ整備事業については民間事業者に対して補助制度の周知を強く図る必要があります。 本県は日帰り客が多く、訪問地に偏りが見られるという特徴があることから、観光客の宿泊・滞在時間の長時間化を図るためには、市町村間で連携した取組を推進していく必要があります。 季節に応じた観光資源の掘り起こしの継続、利用促進のための県内外への効果的なPRや旅行会社等との連携を図っていく必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 民間トイレの整備については引き続き補助率4分の3を継続し、補助制度のメリットを十分に示しながら、商工会議所など各関係団体等を通じて広く周知し、整備を促進します。また市町村間連携で成果をあげている事例などを県内市町村に紹介し、市町村間連携による宿泊滞在型観光を推進していきます。 夏期に比べ観光入込客数が落ち込む秋の観光シーズンに、フリー切符の販売など鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業を実施します。また、二次交通不足への対応を考慮し県内発着バスツアー優待プロモーションとの連携展開を図ります。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 観光産業の競争力強化		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	190,153,055	190,155,520			
	決算額(千円)	132,048,200				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	海外観光ゲストへのおもてなし力向上研修受講者数		295人 (過去4年間平均値)	310人 (29年度目標値)	405人 (29年度実績値)	
千葉県優良県産品新規申請品数(新規)		56点 (過去5年間平均値)	59点 (29年度目標値)	81点 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設や宿泊施設等の経営者・従業員を対象に、外国人観光客に対応するためのICT機器の紹介や、実践的な接客語学研修などを開催し、405人の受講者に対して、おもてなし力の向上を図りました。 農林水産物や観光をはじめとした本県の魅力を幅広く情報発信するとともに、市場動向の調査を行うため、都心に期間限定でアンテナショップを出店するとともに、外国人旅行者向けに、成田国際空港内に県産品を取り扱うミニアンテナショップを設置しました。また、お客様アンケート調査を行いニーズの把握に努めました。 優良県産品申請の裾野拡大のため、商品数が多く周知効果の高い菓子については、県ホームページにおいても応募の呼びかけを行いました。
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 観光・宿泊施設ごとに外国人観光客の受け入れ状況に差があるため、研修参加への意欲に差が生じています。 東京圏や外国人向けの商品として、首都圏や外国のお客様及び販売業者に訴求する商品に磨きあげる必要があります。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の受け入れに積極的でない事業者に対して、外国人観光客を受け入れることに理解を促す必要があります。 アンテナショップで行ったアンケート調査結果を分析・反映し、アンテナショップの出品事業者の意識改革、商品の見直しを行う必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 本研修や様々な機会、オリンピック・パラリンピック開催時には、外国人の周遊エリアが県内各所に広がることも見込まれることなどを説明し、研修参加の意欲を喚起していきます。 アンテナショップの出品事業者に対して意識改革や商品の成熟度を高めるためのセミナー等を新たに実施します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 戦略的な国内観光プロモーションの展開		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課		取組コード	Ⅲ-1-①-3		
予算額と決算額	年度	29年度		30年度		31年度		32年度	
	予算額(千円)	882,360		998,196					
	決算額(千円)	837,015							

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	県観光ホームページアクセス件数	2,719,023件 (28年度実績値)	2,855,000件 (29年度目標値)	2,854,095件 (29年度実績値)	
	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	行政活動目標 (output)	観光商談会参加者数	341人 (28年度実績値)	390人 (29年度目標値)	419人 (29年度実績値)	

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> 夏、秋、早春の季節に応じた観光キャンペーンを軸に、PRイベントの実施やマスメディア・各種媒体を活用した情報発信などのプロモーションを展開しました。 仙台及び名古屋を中心に、現地旅行会社と本県観光事業者が合計で419人参加した観光商談会を実施するとともに、中京圏・北海道では本県観光関係者で、現地旅行会社や教育関係者に対して修学旅行の誘致活動を積極的に行いました。 県観光ホームページでは、掲載されている施設やイベント情報の適宜更新、千葉県への旬の情報を発信する特集ページ作成のほか、これまで週3回行っていたFacebookでの情報発信を毎日行うこととしました。
取組推進に 当たったの 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 圏央道や外環道が延伸開通し、北関東・東北地域から本県へのアクセスが一層向上するほか、成田空港の国内線利用者が関西空港を上回っている状況にあり、首都圏だけでなく、中京圏、北海道といった遠方地域からも本県を訪れる国内客が増えていることなどから、ターゲットを明確にしたプロモーションが求められています。 指標「県観光ホームページアクセス件数」については、若年層を中心にインターネットを使って千葉県の観光情報を入手する傾向が強まっていることから、ICTを活用した様々な手法による観光情報の発信が求められています。
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 圏央道・外環道の延伸や2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、観光に有利な外的要因の機会を捉えて、千葉県の観光の魅力を戦略的に情報発信し、新たな観光ニーズの形成に大きな影響力を持つメディアや旅行会社等に対して積極的なプロモーションを展開する必要があります。 県観光ホームページについては、ブログやロコミといったSNSによる即時性・臨場感等を意識した効果的な情報発信も取り入れるなど、一層の周知に向けた取組を行う必要があります。
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 圏央道や外環道の延伸開通により本県へのアクセスがさらに向上することから、北関東地域等に向けた観光PRイベントを開催するとともに団体向けにツアーバス優待プロモーションを実施します。 中京圏、北海道でのプロモーションを積極的に展開し、県外の教育関係者、旅行事業者を招いてのモニターツアー、県内観光関係者による現地訪問等による誘致活動を実施します。 県観光ホームページそのものの認知度向上のため、イベント時などに紹介して周知を図るほか、モデルコースや旬の情報をまとめた特集記事など多様なコンテンツを作成して幅広い魅力的な情報掲載を継続し、Facebookページも活用してタイムリーに発信します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンドの推進		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-4
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	1,018,617	1,083,979			
	決算額(千円)	762,526				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	外国人延宿泊者数	3,345千人 (28年実績値)	3,510千人 (29年目標値)	3,675千人 (29年実績値)	
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	公衆無線LAN環境整備事業整備箇所数	96箇所 (28年度実績値)	100箇所 (29年度目標値)	56箇所 (29年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 台湾・タイ王国・マレーシアで開催された旅行博への出展や現地商談会の開催、海外からのメディア等の招請については、新たにベトナムもターゲットに加えて実施し、さまざまな手法で千葉県観光地のPRに努めました。 近年増加傾向にある教育旅行については、平成28年度の37校を超える50校を受入れ、県内学校との交流やホームステイによる国際交流を行いました。 平成28年度に作成した外国人向けPR用観光ガイドマップに新スポットの設定やルートの拡充を行い、外国人(英語・タイ語圏)向けWEBページ・SNS等を活用してPRを実施しました。 外国人観光客からの要望が多い公衆無線LAN環境を整備するため、主要観光施設や宿泊施設を中心に56件の整備に対して補助を行いました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁の宿泊旅行統計調査によれば、千葉県の外国人延べ宿泊客数は、全国第6位と高順位にありますが、その内訳をみると、千葉市、成田市、浦安市の3市が占める割合が約7割となっており、地域による偏りが見られます。 訪日旅行者の旅行形態(団体旅行、個人旅行)や嗜好等は国・地域により傾向が異なりますが、現在のPR用観光ガイドマップでは英語、タイ語以外の国に対応できていない現状にあります。 公衆無線LAN環境の整備において、市町村や関連団体および宿泊施設等によって必要性に対する意識や財政事情に差があることから、想定よりも整備が進んでいない現状にあります。
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市、成田市、浦安市以外の地域への周遊や宿泊を促す必要があります。 今後訪日旅行者の増加が見込まれる国に対して、旅行者の動向を調査してルートを作成し、母国語で情報発信する必要があります。 市町村や関連団体および宿泊施設等に対し、公衆無線LAN環境整備に対する理解度の向上と、設置意欲を喚起する取組を行う必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人の県内各所への周遊や宿泊を促すため、県内観光施設や宿泊施設を利用する訪日旅行者向けに団体用バスを手配する旅行会社を支援します。 今後の外国人観光客の動向を見ながら、対応言語の増加を図るとともに、新たな周遊コースについても検討します。 公衆無線LAN環境整備に関し、市町村等のニーズ調査を実施したうえで、実情に応じた事業展開を検討します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 地域の特性を生かした移住・定住の促進		取りまとめ担当課	総合企画部政策企画課	取組コード	Ⅲ-1-①-5
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	69,000	68,200			
	決算額(千円)	63,316				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	ちばの暮らし情報サイトアクセス件数	75,632件 (28年度実績値)	78,000件 (29年度実績値)	119,531件 (29年度実績値)	
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	移住希望者向けイベント等における県内移住の案内・相談人数	282人 (28年度実績値)	300人 (29年度実績値)	321人 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携し、都内で移住セミナー等を開催(10回)・出展(2回)し、地域の魅力などを情報発信するとともに、移住相談等に対応(延べ241人)しました。 移住に興味のある県外居住者を対象に、市町村と連携した移住・定住体験ツアーを開催(4回)し、延べ80名に移住先としての地域の魅力を体感いただきました。 県内市町村の移住・定住関連情報や居住地としての魅力をまとめた電子ブックなどをWeb上に公開することで、ちばの暮らしの魅力をPRし、具体的な移住検討に資する情報提供を行いました。また、広報を充実させることで、Webページへのアクセス件数が119,531件(前年度比43,899件増)へと大きく増加しました。 市町村での移住相談を実際の移住へと繋げるため、市町村の相談窓口担当職員を対象とした研修会を開催(2回)しました。 地域しごと支援センターちばにおいて、千葉県への転職や県内就職を希望する若年者等を対象に、電話や面談による個別相談や職業紹介を行ったほか、合同企業説明会等の県内企業との交流イベントを実施しました。
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 市町村によって、移住者の受入れ体制に差があります。また、県と市町村との協力・連携体制が十分には確立されていません。 移住セミナー等での相談内容が具体的になるほど相談に要する時間が長くなり、1回のセミナー等で対応可能な相談件数が減少してしまうことがあります。 景気回復に伴う労働需要の増を背景とした雇用情勢の改善、インターネットをはじめとする就職活動手法の多様化等の影響により、地域しごと支援センターちばの利用件数や、合同企業説明会等の出席者数は減少傾向にあります。
問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 県と市町村との役割分担と連携を強化するとともに、市町村の移住者受入れ体制の充実が必要となります。 セミナー等における幅広い相談機会を確保するため、その実施体制や日頃の市町村における相談対応体制の充実等についても考慮する必要があります。 今後も人口減少と少子高齢化が進むと見込まれる中、地域が必要とする人材を呼び込み、本県の労働力を確保することは喫緊の課題となっていることから、県内への移住・就労希望者の多様化するニーズに応えられるような取組が必要であるとともに、県外の学生等の若者向けの取組の充実を図る必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村が行う移住・定住促進のための取組を支援するとともに、県内の移住・定住に関する情報を発信するため、市町村と連携してホームページなど各種媒体を活用した情報発信や移住セミナー等の開催・出展を行います。また、市町村の施策立案に役立つ各種情報の収集・分析を行うとともに、その成果の共有と相談に対応する市町村職員等の資質向上を図るため、研修会を充実させます。 地域しごと支援センターちばにおいては、移住に関するより詳細な話を希望する利用者に対してUIターン就職経験者等との面会の仲介を行うほか、県外の学生等若年者が、県内へ移住・就労を検討する機会を創出するためのイベントを実施します。

Ⅲ－１－②国際都市として発展するCHIBAづくり

- 1 国際交流、国際協力の活発化
- 2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり
- 3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進
- 4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進
- 5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 国際交流、国際協力の活発化		取りまとめ担当課	総合企画部国際課	取組コード	Ⅲ-1-②-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	125,128	131,206			
	決算額(千円)	106,617				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	県の国際交流・協力活動のネットワーク会議に参加する団体数	23団体 (28年度実績値)	25団体 (29年度目標値)	28団体 (29年度実績値)	
行政活動目標 (output)	チーバくん大使による情報発信件数(累計)	4,527件 (28年度実績値)	5,100件 (29年度目標値)	5,954件 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹州であるアメリカ・ウィスコンシン州に友好使節団を派遣して交流を図るとともに、友好都市であるドイツ・デュッセルドルフ市の「日本デー」で交流に関するパネル展示や県紹介チラシの配布等を行い同市との交流を深めました。また、同じく友好都市である台湾・桃園市と観光や経済、教育、スポーツ等の交流を進めました。 ・チーバくん大使による情報発信件数は、過去最高となる年間1,427件で、累計5,954件となりました。 ・タイ及び台湾におけるプロモーション事業、海外現地メディアへのプレスリリース、海外で放送されるテレビ番組の制作・放映などを通じて、千葉の魅力を広く海外に発信しました。 ・高校生海外留学助成事業では、グローバル人材の育成を図るため、各学校の指導計画に基づく短期留学に参加する高校生に対して費用の一部を助成しました。 ・スーパーグローバルハイスクール事業では、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけた、将来国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を推進しました。
取組推進に当たった問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・チーバくん大使による情報発信件数は、大使による個人差はあるものの全体として毎年一定数を保っています。コメント数等反響も多く、成果は上がっているものと考えています。 ・海外における千葉県の認知度は必ずしも高くありません。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・チーバくん大使による情報発信は、引き続き発信件数を増加させるとともに、発信内容の充実を図る必要があります。 ・様々な機会や広報媒体を使って、積極的かつ戦略的に千葉県の魅力を発信していく必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・草の根情報発信事業(チーバくん大使事業)では、関係機関や庁内関係課等と連携し、魅力ある県内ツアーを実施します。また、意見交換会を通じ、各国の事情や県内観光へのニーズ等を把握します。 ・各イベントや広報媒体と、トップセールスなど他の取組を効果的に組み合わせ、千葉県の魅力をさらに発信してまいります。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 外国人県民にも暮らしやすい県づくり		取りまとめ担当課	総合企画部国際課	取組コード	Ⅲ-1-②-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	19,733	23,403			
	決算額(千円)	17,476				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
	補助指標 (中間outcome)	県の国際化施策に関する連携会議に参加する機関・団体数	62団体 (28年度実績値)	65団体 (29年度目標値)	71団体 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>補助指標(中間outcome) グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>85</td><td>85</td></tr> <tr><td>H25</td><td>105</td><td>105</td></tr> <tr><td>H26</td><td>76</td><td>76</td></tr> <tr><td>H27</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>H28</td><td>62</td><td>62</td></tr> <tr><td>H29</td><td>71</td><td>65</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H24	85	85	H25	105	105	H26	76	76	H27	80	80	H28	62	62	H29	71	65	達成								
年度		実績値	目標値																																	
H24	85	85																																		
H25	105	105																																		
H26	76	76																																		
H27	80	80																																		
H28	62	62																																		
H29	71	65																																		
行政活動目標 (output)	通訳ボランティア新規養成者数(累計)	259名 (28年度実績値)	432名 (29年度目標値)	468名 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標(1) グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>85</td><td>85</td></tr> <tr><td>H28</td><td>259</td><td>432</td></tr> <tr><td>H29</td><td>468</td><td>432</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	85	85	H28	259	432	H29	468	432	達成																		
	年度	実績値	目標値																																	
	H27	85	85																																	
	H28	259	432																																	
H29	468	432																																		
語学ボランティア活動実績	49件 (28年度実績値)	増加を 目指します (29年度目標値)	54件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標(2) グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>44</td><td>44</td></tr> <tr><td>H28</td><td>49</td><td>49</td></tr> <tr><td>H29</td><td>54</td><td>49</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	44	44	H28	49	49	H29	54	49	達成																			
年度	実績値	目標値																																		
H27	44	44																																		
H28	49	49																																		
H29	54	49																																		
外国人児童生徒等教育相談員派遣学校数及び派遣人数		26校 (28年度実績値)	増加を 目指します (29年度目標値)	33校 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標(3) グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値(校)</th><th>目標値(校)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr><td>H22</td><td>23</td><td>25</td></tr> <tr><td>H23</td><td>22</td><td>25</td></tr> <tr><td>H24</td><td>22</td><td>25</td></tr> <tr><td>H25</td><td>25</td><td>25</td></tr> <tr><td>H26</td><td>21</td><td>25</td></tr> <tr><td>H27</td><td>23</td><td>25</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>H29</td><td>33</td><td>26</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値(校)	目標値(校)	H21	25	25	H22	23	25	H23	22	25	H24	22	25	H25	25	25	H26	21	25	H27	23	25	H28	25	26	H29	33	26	達成
		年度	実績値(校)	目標値(校)																																
H21	25	25																																		
H22	23	25																																		
H23	22	25																																		
H24	22	25																																		
H25	25	25																																		
H26	21	25																																		
H27	23	25																																		
H28	25	26																																		
H29	33	26																																		
43名 (28年度実績値)	増加を 目指します (29年度目標値)	60名 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標(4) グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値(名)</th><th>目標値(名)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>27</td><td>27</td></tr> <tr><td>H22</td><td>33</td><td>29</td></tr> <tr><td>H23</td><td>35</td><td>33</td></tr> <tr><td>H24</td><td>35</td><td>33</td></tr> <tr><td>H25</td><td>35</td><td>33</td></tr> <tr><td>H26</td><td>39</td><td>35</td></tr> <tr><td>H27</td><td>44</td><td>35</td></tr> <tr><td>H28</td><td>45</td><td>43</td></tr> <tr><td>H29</td><td>60</td><td>43</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値(名)	目標値(名)	H21	27	27	H22	33	29	H23	35	33	H24	35	33	H25	35	33	H26	39	35	H27	44	35	H28	45	43	H29	60	43			
年度	実績値(名)	目標値(名)																																		
H21	27	27																																		
H22	33	29																																		
H23	35	33																																		
H24	35	33																																		
H25	35	33																																		
H26	39	35																																		
H27	44	35																																		
H28	45	43																																		
H29	60	43																																		

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け生活ガイドブック「ハローちば」(7言語)の改訂を行うとともに、県ホームページに掲載しました。 ・各種会議を開催し、民間団体や公的機関、市町村等、計71の団体と外国人県民支援施策に関する情報を共有するとともに、団体相互の連携を促進しました。 ・多言語によるコミュニケーション支援体制を整備するため、通訳ボランティア養成講座を開催し、新たに209名養成しました。 ・県立学校に在籍する日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、児童生徒の母語を理解する教育相談員を派遣し、日本語指導、適応指導、保護者との連絡に必要な翻訳や通訳を行いました。 ・八千代市内で開催された各種イベントに参加し、警察ブースを設置して外国人集住地域総合対策の活動状況の写真を展示したほか、交通事故防止、電話de詐欺防止等の広報啓発活動を推進しました。 ・外国人集住地域の小学校等において、外国人が犯罪や事故に巻き込まれないための防犯講話や交通安全指導等を実施しました。
<p>取組推進に当たった問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養成した通訳ボランティアに対し活動の機会を提供できない場合、ボランティアの能力やモチベーションが低下する恐れがあります。 ・外国人児童生徒等教育相談員については、別々の母国語を持つ生徒が複数入学することで、複数の教育相談員を必要とする学校が増加しています。 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、訪日外国人等の増加が見込まれます。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳(語学)ボランティアへの活動依頼を増やす必要があります。 ・外国人児童生徒等の教育相談員の適切な時間数及び配置、授業等について改善・工夫等を行う必要があります。 ・外国人が、犯罪や事故に巻き込まれないように適切な情報提供を行う必要があります。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流イベントやスポーツ大会等、ボランティアの活動機会に関する情報を関係機関から収集するとともに、語学ボランティア制度の周知を図ります。 ・(公財)ちば国際コンベンションビューローが運営している語学ボランティア制度について、派遣条件の明確化や活動範囲の拡大等、ボランティア派遣依頼者がより使いやすい制度となるよう、同財団に対し助言を行ってまいります。 ・外国人児童生徒等に関する連絡協議会を開催し、県立学校に在籍している外国人児童生徒等の教育の充実を図るために、その効果的な指導の在り方等について協議します。 ・外国人集住地域の外国人に対する防犯講話、交通安全指導等を実施するほか、関係機関等と情報交換を行うなど、一層の連携を図ります。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 県内企業の海外取引と県産農林水産物の輸出の促進		取りまとめ担当課	商工労働部経済政策課	取組コード	Ⅲ-1-②-3
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	277,077	405,615			
	決算額(千円)	231,034				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	県産農林水産物の輸出に取り組む事業者・生産者団体数(累計)	46社・団体 (28年度実績値)	50社・団体 (29年度目標値)	71社・団体 (29年度実績値)	
行政活動目標 (output)	海外ビジネスセミナーの参加人数	960人 (28年度実績値)	1,000人 (29年度目標値)	750人 (29年度実績値)		未達成
	海外販路拡大に係る支援件数	15件 (28年度実績値)	15件 (29年度目標値)	19件 (29年度実績値)		達成
	県産農林水産物の輸出を進める商談会・海外フェア	7回 (28年度実績値)	7回 (29年度目標値)	7回 (29年度実績値)		達成

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに輸出に取り組む生産者団体等への助成や海外でのフェアなどの取組を進め、71社・団体が県産農林水産物の輸出の取組を行いました。 ・海外展開を図る県内の中小企業・小規模事業者に対し、海外戦略の策定や翻訳などの貿易実務の支援を希望する企業に対する専門家派遣を行ったほか、幕張メッセで開催される世界最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN」への出展企業や「ちば中小企業元気づくり助成事業」及び「トップセールス戦略的フォローアップ事業」を活用して海外展示会に出展する企業に対し総合的な支援を行いました。
<p>取組推進に当たった問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出に取り組む産地等の拡大を図るとともに、原発事故の影響により一部の国・地域で続く輸入規制や、農産物輸出に係る検疫条件等への対応、輸向け商品の物量・品質確保等、輸出を推進するために取り巻く環境に的確に対応、また改善を図ることが必要です。 ・大企業に比べて人的・物的資源に限りのある中小企業が、自力で海外展開に関する情報やノウハウを十分に得ることや、実際に海外展開に踏み切ることが難しい状況です。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手生産者や新たに輸出に取り組む生産者団体等を中心に一層支援するとともに、国やジェトロ等と連携の上、諸外国の最新の輸入規則や市場動向、輸出の現状を把握し、輸出の促進へ効果的につながるPRや輸出環境の整備を図ることが重要です。 ・海外展開を検討している中小企業を掘り起こし、県やジェトロが行う各種支援策を正しく理解し効果的に活用してもらうため、ニーズに応じたきめ細やかな支援が必要です。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出に取り組む生産者団体等が実施する販促活動や輸出環境の整備等に対して支援を行うとともに、引き続き東南アジア地域を中心に海外でのプロモーション等に取り組めます。 ・企業の海外展開を支援するジェトロ千葉、千葉県産業振興センター、千葉県貿易協同組合等支援機関との情報共有に努め、連携を密にすることにより、企業が抱える課題やニーズの把握に努め、適切な情報提供や支援につなげます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 海外プロモーション等による観光客の誘致促進		取りまとめ担当課	商工労働部観光企画課	取組コード	Ⅲ-1-②-4
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	231,332	228,146			
	決算額(千円)	204,972				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	外国人延宿泊者数	3,345千人 (28年実績値)	3,510千人 (29年目標値)	3,675千人 (29年実績値)	
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	公衆無線LAN環境整備事業整備箇所数	96箇所 (28年度実績値)	100箇所 (29年度目標値)	56箇所 (29年度実績値)		未達成

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> 台湾・タイ王国・マレーシアで開催された旅行博への出展や現地商談会の開催、海外からのメディア等の招請については、新たにベトナムもターゲットに加えて実施し、さまざまな手法で千葉県観光地のPRに努めました。 近年増加傾向にある教育旅行については、平成28年度の37校を超える50校を受入れ、県内学校との交流やホームステイによる国際交流を行いました。 平成28年度に作成した外国人向けPR用観光ガイドマップに新スポットの設定やルートの拡充を行い、外国人(英語・タイ語圏)向けWEBページ・SNS等を活用してPRを実施しました。 外国人観光客からの要望が多い公衆無線LAN環境を整備するため、主要観光施設や宿泊施設を中心に56件の整備に対して補助を行いました。
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁の宿泊旅行統計調査によれば、千葉県の外国人延べ宿泊客数は、全国第6位と高順位にありますが、その内訳をみると、千葉市、成田市、浦安市の3市が占める割合が約7割となっており、地域による偏りが見られます。 訪日旅行者の旅行形態(団体旅行、個人旅行)や嗜好等は国・地域により傾向が異なりますが、現在のPR用観光ガイドマップでは英語、タイ語以外の国に対応できていない現状があります。 公衆無線LAN環境の整備において、市町村や関連団体および宿泊施設等によって必要性に対する意識や財政事情に差があることから、想定よりも整備が進んでいない現状にあります。
問題点を踏まえた目標達成等に必要課題	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市、成田市、浦安市以外の地域への周遊や宿泊を促す必要があります。 今後訪日旅行者増加が見込まれる国に対して、旅行者の動向を調査してルートを作成し、母国語で情報発信する必要があります。 市町村や関連団体および宿泊施設等に対し、公衆無線LAN環境整備に対する理解度の向上と、設置意欲を喚起する取り組みを行う必要があります。
課題を踏まえた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 県内各所への周遊や宿泊を促すため、県内観光施設や宿泊施設を利用する海外からの旅行者向けに団体用バス手配に関する支援をします。 今後の外国人観光客の動向を見ながら、対応言語を増加します。また、周遊コースについても増加を検討します。 公衆無線LAN環境整備に関し、市町村等のニーズ調査を実施し、実情に応じた事業展開を検討します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化		取りまとめ担当課	商工労働部経済政策課	取組コード	Ⅲ-1-②-5
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	2,656,756	3,097,869			
	決算額(千円)	2,557,065				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	幕張メッセ来場者数	655万人 (28年度実績値)	600万人 (29年度目標値)	709万人 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と成果	<p>・MICE[※]については、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー(CCB-IC)を中心として、市町村や関係機関との連携により、誘致に取り組みました。平成29年度は、CCB-ICにより、「日本薬学会第139年会」など国際会議(JNTO基準[※])の誘致に66件成功しました。</p> <p>・アジア有数のコンベンション施設である幕張メッセにおいては、国際的な産業展示会に加え、音楽・文化系などのイベントの新規・継続誘致に取り組みました。平成29年度は、ガスとLNGに関する世界最大規模のコンベンションである「Gastech Exhibition & Conference」が日本初開催されるとともに、従来から開催している「CEATEC」「FOODEX」などの産業系展示会や夏季長期イベントである「ギガ恐竜展」に加え、「スタジアム&アリーナ」などの新規総合イベントが開催されたほか、音楽コンサートや文化系のイベントなどの増加により、引き続き好調な利用状況となりました。</p> <p>・県と千葉市からなる「元気な幕張新都心をつくる県市連絡会議」を開催し、幕張新都心の更なる活性化に向けて協議しました。</p> <p>※MICE:企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント・展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。 ※JNTO基準:参加者50人以上、参加国3カ国以上、会期1日以上等</p>
-----------	---

取組推進に当たっての問題点等	<p>・MICEについては、近年、国際的な誘致競争が激化する中で、国内においても各都市でMICE誘致に意欲的に取り組んでおり、競合施設の拡張等が行われるなど、国内外における誘致競争が厳しくなっています。</p> <p>・幕張メッセについては、開設から約30年が経過し、施設の老朽化が見受けられます。</p>
----------------	---

問題点を踏まえた目標達成に必要な課題	<p>・2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、今後国内外から多くの方が首都圏を訪れることが予想されます。この機会を確実に捉え、首都圏を実際に訪れる方々や日本に興味を持っている方々に、千葉の魅力を戦略的にPRし、本県へのMICE誘致につなげていく必要があります。</p> <p>・幕張メッセについては、施設の老朽化対策と利用者の利便性向上に向けた大規模改修を着実に実施していく必要があります。また、他の競合施設の拡張により、催事の誘致競争が激化することから、既存催事等の継続と新たな催事等の誘致の強化が必要です。</p>
--------------------	---

課題を踏まえた具体的な取組	<p>・MICEの誘致については、MICE関係機関との連絡会議を通じるなどしてCCB-ICをはじめ関係機関との連携強化を図り、情報共有や誘致活動を行うことなどによって、より一層の誘致競争力の強化に努めてまいります。</p> <p>・現在幕張メッセで開催している催事等の継続誘致を強化するとともに、今後は、東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となる知名度を活かし、国際的な催事や音楽・文化系のイベントなど、利用分野の拡大に努めます。また、施設の老朽化対策に併せて、機能向上を図るための大規模改修を着実に実施してまいります。</p>
---------------	---